

「One pill can kill a child」



深浦診療所 医員 島田 雅仁

お久しぶりです(^▽^)/だんだんと気温も下がり、私にとって子ども達を朝起こすことがさらに大変な時期がやって来ました。ここ最近の話題は新型コロナウイルスばかりだったので、今回は全く別のテーマのお話をしたいと思います。最近診療をしていると『**血圧の薬がまだあるはずなのに無くなった。**』、『**薬の数が合わない。**』、『**間違えて子どもに飲ませてしまった。**』など薬の紛失や誤飲させてしまった事例を聞くことが気になっていました。そこで今回のテーマは『One pill can kill a child』、直訳すると『**一錠で子どもを殺すことができる**』です。突然怖いことを言い出したので読むのをやめてしまう方はちょっと待ってください。恐ろしいタイトルですが、とても大事な話なので特に小さなお子様のいる家庭の方等はそのまま最後まで読んでみて下さい。

このテーマは小児の中毒に関するお話です。成人になると高血圧、脂質異常症等の生活習慣病を抱え、それに対し様々な薬を処方されている方も多いかと思えます。そんなみなさんが普段飲みなれた薬の中にも小児にとっては成人用1錠で致命的になる薬があるということを知っていただき、改めて薬の管理の徹底をお願いしたいということが今回の目的です。

小児救急ではこの危険な薬をその頭文字を取って、『ABC GET MOM』と覚えています。それぞれの頭文字が何を指すかは興味がある方は是非ネット検索してみてください。今回は薬の名前を伝えても、ご自身が飲まれている薬がそれかどうかは判断つかない方もいらっしゃると思います。そこで以下のような薬を飲んでいる方はご自身の飲んでる薬が小児にとって致命的になるかもしれないと常に注意して下さい。

☆小児に致命的になる可能性のある薬剤☆

降圧剤（血圧を下げる薬）、抗不整脈薬（心臓のリズムを整える薬）、抗凝固薬（血をサラサラにする薬）、血糖降下薬（糖尿病の薬）、抗うつ薬・抗精神病薬（安定剤）、抗癌薬（けいれん止め）、気管支拡張薬（ぜん息の薬）、総合感冒薬（かぜ薬）、勃起不全治療薬、樟脳（防腐剤） …等

これらの薬を誤って子どもが服用すると、意識障害や不整脈、血圧低下、呼吸不全等を引き起こし、死に至る場合もあります。誤って服用しないように、子どもの手の届かないところに置くなど、何度も言いますが管理を徹底してください。服用してしまった場合は、診療所等の医療機関に必ず相談するようにしてください。また、応急処置として粘膜保護を目的とし、牛乳（15mL/kg（例：体重10kgの子どもであれば150mL））を飲ませることも有効とされています。ただし、樟脳だけは牛乳は絶対に飲ませないでください。（※樟脳は脂溶性のため、動物性脂肪の含まれた牛乳では吸収を逆に加速させてしまいます。）

まとめると、薬は無くさないでくださいねという一言になります。（^▽^）/さらに基本無くした場合の再処方全額実費になりますからね。お金もかかりますよ!!

ご自身の健康を守りつつ、子ども達の未来を守るためにご協力を宜しくお願い致します。

住宅用火災警報器の取り付けを行いました

鱈ヶ沢地区消防事務組合（深浦町消防署、岩崎分署）では、火災予防運動期間中の2日間、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、住宅用火災警報器の取り付けを実施しました。

住宅用火災警報器は、（一社）青森県消防設備保安協会から無償譲渡されたもので、今回は町内3地区（5区・6区・岩崎地区）の一人暮らし高齢者宅へ配布。配布した際に、消防署員が台所やストーブ周辺から火事を出さないよう注意を呼びかけました。

深浦町は住宅用火災警報器の設置率が県内でも低く、消防事務組合では、今後も警報器の設置率向上を図っていくこととしています。



取り付け作業完了を確認



住宅用火災警報器について説明している様子

三浦さん(岩崎中1年) 全国大会へ

三浦佑月さん（岩崎中1年）が、2021年全日本卓球選手権大会（カデットの部）青森県予選会の子供ダブルスに参加し、見事優勝に輝き、愛知県で行われる全国大会に出場することとなり、表敬訪問で町長室へ訪れました。

三浦さんは「9月中は部活やナイター練習ができず、思うように練習ができなかった。その分、家でトレーニングしてきたので、その成果を発揮したい」と全国への挑戦へ決意を述べました。

そして10月30日～31日に行われた全国大会では、大舞台にもかかわらず、トーナメント3回戦進出、ベスト32という結果を残しました。三浦さんは現在中学1年生。今後の活躍に期待がかかります。三浦さん、お疲れ様でした。

